

そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをきて、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部

〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20

TEL 03-3918-5935

発行者 井桁正巳

編集者 五島靖子

タイトルバック写真 山中和明



エパタ

第102号

「リバイバル」

2020年からはじまった新型コロナウイルスの流行により、今まで当たり前のようにしていたことが簡単には出来なくなってしまう。また試練や困難の中におられる兄弟も多くおられると思います。しかし、神さまを見上げてください。必ず助けの手が差し伸べられています。この試練と困難は、主によって乗り越えることができますので、皆で心一つにしてお互いの為に祈りましょう。

さて、みことばからイエス様が与えて下さっている使命について再確認していきたいと思えます。

「そこで、彼らは、いつしよに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださいさるのですか。」

使徒一章六節

弟子たちは「今」この地上に永遠に続く神の国を建て上げてほしいと、復活のイエス様に願いました。しかし、イエス様は弟子たちに「あなた達は勘違いしている。あなた達は聖霊に満たされる必要があるのだ！」とお答えになられたのです。イエス様がお話になつてゐるのは、霊的な国のことなのです。この霊的な国は、世界中の国々の人々の為の国なのです。ユダヤ人だけではなく、アラブ人、アメリカ人、アフリカ人、アジア人、ヨーロッパ人の為の国なのです。だから、先ず、弟子たちは聖霊に満たされる必要があるのです。そして、神の国の福音を全世界へ伝えていくことを願われたのです。この霊的な神の国に、世界中の民族が入り、その後、神の国がこの地に到来するのです。イエス様は神の国が到来する為の条件を教えてください。



徳島神召キリスト教会

牧師 井桁 正巳

「しかし、聖霊があなたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」使徒一章八節

その条件とは、神の国の福音がエルサレムから始まり、地の果てにまで行くことだとお話されました。イスラエルから見ると、西の地の果てはスペイン・ポルトガルになります。ご存知のようにキリスト教の国々です。そして、東の地の果てが日本になります。神の国の福音が、日本にまでくるのに約2000年も掛かってしまいました。

神さまは、日本にリバイバルが来ることと、日本から福音が未だ入っていない国々を経て中東へ戻ることを望んでおられるのです。

「兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになつたのは異邦人の完成のなる時までであり、

ローマー一章二五節
「異邦人の完成のなる時まで」とは、コップに水が

溢れるようなものです。それは神さまの時が満ちることを指しています。日本の多くの教会が聖霊のバプテスマを受ける時、聖霊に満たされる時が、神さまが日本人にご計画されている「完成のなる時」リバイバルなのではないでしょうか？リバイバルしたら私たちはどうなるでしょう。多くの日本人が救われていきます。そして、まだ福音が届いていない、イスラム教の国へ、禁教国へ、イスラエルへと福音を携えて日本人が出かけるようになるのです。

初代教会が試練と困難を乗り越えることができたのは、聖霊に助けられ、聖霊に満たされることでした。今の私たちも同じではないでしょうか。この試練と困難な時こそ、日本の全ての教会が聖霊に満たされるように祈る時なのではないでしょうか。日本が聖霊で満ちるように、リバイバルするよう祈っていきましよう！



新 ろう者伝道師の紹介

ろう者聖書学校での三年間の学びを終えて、四月から伝道師として就任した、五人の先生方です。今後の御奉仕の為にお祈りください。また、さらに、ろう者伝道師が起こされるように祈りましょう。

小岩栄光キリスト教会

中村 崇

今後の働きは

主の導きによるもの

私はろう者伝道師になった事は救われた時に予想出来なかつたです。振り返って見れば神の導きだった事がわかります。私は残り少ない第二の人生として伝道活動開始となります。



ワクワクよりも色々な試練が待っているかも知れません。それを楽しんで乗り越えられるようにしな

ればならないと覚悟しています。一番大切な事は、どんな時も祈る事です。

それは吉山牧師の教えです。忘れないように心掛けてまいりたいと思います。

熊谷福音キリスト教会

新井 哲也

ハレルヤ！主の御名を賛美します。三月九日にろう者と聴者による史上初の合同卒業式が行われました。私の場合は隣県のため、出席できると思っていました。出席するためにやむなくZoomで出席しました。



ともあれ、ろう者神学生全員が無事に卒業できたのは、大きな喜びでした。そして、四月四日に就任式が行われました。

現在は教会の会計奉仕や、月二回、ろう者礼拝の奉仕をしています。皆さんのお祈りと応援を宜しくお願い致します。

名古屋神召キリスト教会

加藤 雅美

主の御名を賛美します。

四月、ろう者伝道師としてスタートしました。就任式で多くの教会員に見守られ、辞令が読み上げられ、宣言された時に実感が込み上げました。魂



を導く使命の重責を感じ、熱くなりました。

神様が良い時に召して下さったから福音が多くの人たちに届くように励みたいです。

ろう者世界にリバイバルが起きることをビジョンにして祈っています。

ろう者教職のためにお祈りをお願いするとともに感謝を申し上げます。

阿南神召キリスト教会

古川 公子

主の御名を崇めます。

私たちは、今年三月九日阿南教会において、オンラインで卒業式を迎えることが出来ました。教会の諸先生をはじめ、全国のろう者の皆さん、お祈りと励ましを頂きありがとうございました。



今コロナ渦の中、不安や恐れを抱いている多くのろう者たちが、神様を信じて、希望が与えられる様に福音を伝え、忠実に主に仕えて行きたいと願っています。これからもお祈りよろしくお願います。

岡山神召キリスト教会

水島 宣子

ハレルヤー!! 四月から、ろう者伝道師として、岡山神召キリスト教会に仕えることになりました。

私は、両親もクリスチャンです。生まれた時からお世話になって来た教会で、



ろう者伝道師としてご奉仕できることは、本当に大きな恵みだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

これから、一人でも新しいろう者が救われるように、祈りつつ伝道に励むと共に、今いるろう者信徒たちの、さらなる霊的成長のためにも、精一杯みことばを取り次いでいきたいです。



ろう者トレーニングスクール

今年のろう者トレーニングスクールはオンラインにより、郡美矢師を講師に行われました。

三滝グリーンチャペル

郡 美矢

二日間で行われる恒例のろう者トレーニング・スクールはコロナ禍のため、一日のみとなり、二月十一日(木・祝)オンラインで開催されました。

「聖書キャラクター・ベストテン」をテーマに、教会の中でろう者のリーダーを育てる、リーダーシップ養成について学びました。リーダーは、自分に与えられた賜物が何であるかをよく知り、それを百パーセント発揮して、それを自分のために用いるのではなく、他の人のために用いる時、神は「あなたは、わずかな物に忠実だったから、私

はあなたにたくさんの物を任せよう。」(マタイ二五章二一節)と言われ、さらに多くのタレントと、責任が与えられ、祝福が増し加えられます。

聖書の中には、膨大な数の人物が出てきますが、そのすべてを選ぶことは難しいので、今回は、聖書人物十人を予め選んでベストテン形式で紹介がなされました。どれもユニークな聖書人物が登場しますが、みな立派なリーダーばかりで、私なんてとてもリーダーなどできそうにないと思ってしまうが、心配はいりません。やはりリーダーも一人の人間であり、弱さや欠点も持ち合わせていました。が、神様が彼らを用いて成長させてくださいました。だからどんな小さなリーダーであっても、失敗を恐れず、神さまから与えられた賜物を生かして互いに仕えあっていきましょう。

彼らの生きざまを通して私たちもたくさんのお話を学ぶ機会となりました。

御影神愛キリスト教会

窪田 晴雄

今年度のろう者トレーニンング・

スクールに関して

今年度のろう者トレーニンング・スクールでは、コロナ禍でオンラインによる集会でした。ろう者聖書学校の歴史としては初めての経験となりました。御影の教会では、「ZOOM」をスクリーンに投影して集会形式で行いました。瀬古先生、小笠原先

★2021年オンライン全国ろう者聖会★

- ・日程 2021年8月11日（水）～12日（木）
- ・講師 澁谷友光師

★第6回世界アッセンブリーろう者大会★

- ・日程 2023年10月4日（水）～11日（水）
- ・第三次参加者を募集中。徳島の井桁師まで。

★ろう者聖書学校入学者募集中★

QRコードを読み取って動画をご覧ください。



郡美矢先生の挨拶

古川伝道師のお勧め

★ろう者伝道部ホームページご案内★

月替わりでリレー手話メッセージを掲載中。
6月は井桁先生です。
ぜひご覧ください！



生も含めて七名が出席できたことは感謝でした。集会のテーマは「聖書キャラクターベストテン」。リーダーとしての役割をどのように生かすべきかという内容でした。リーダーシップの基本的役割を、聖書に出てくるキャラクターの様々な性格などを把握しながら現在のろう者信徒として改めて見直すべき学びができて感謝でした。

手話との出会い①

前川圭司

ある聖日の礼拝後、教会にろう者の0さん夫妻が訪ねて来ました。この時が私は手話と初めての出会いで、指文字も手話もできないので筆談でのコミュニケーションでした。お二人の要求は「来週からこの教会の礼拝に出たいから手話を覚えてください。」ということでした。この時から私の手話との戦いが始まりました。



妻と二人で門真市が主宰する手話サークルの初級、中級クラスで学びました。しかし、一般の手話サークルにはキリスト教の用語がありません。礼拝メッセージの準備をし、単語の一つ一つを手話に置き換える作業をしながら、手話の語彙（あるまとまりをもった語の集まり）が少ないこと、聖書にある単語で、手話にないものが多いことに気づきました。たとえば、「夏」と「暑い」の手話は同じです。最初の口話と手話を同時に用いていた礼拝メッセージは、いつもの時間の半分ぐらいで終わったので皆さん喜びました（笑）。手話に力を入れると口話が分かりにくいと聴者に注意され、口話に気をつけると手話がおそろかになるとうる者に叱られる始末です。ろう者と交わった当初、大先輩のH先生から「聴者とうる者、双方を伝道牧会することは、教会を二つ持っているのと同じですよ」と聞いた事がありますが、今はそのことを痛感しています。聴者には聴者の生活、文化があり、ろう者にはろう者の生活、文化があり、言葉や行動が聴者とうる者とは違いますが、

違う事もあるので注意が必要です。特に手話ではメンタル（精神的）な面で細かい部分が表記しにくいので誤解される事もよくあります。そして、それが一旦受け入れられると、なかなか訂正されない事もあります。聴者とうる者が双方の文化を共有し、信仰と愛と御霊の一致をもって、手話を通しての交わりを深めていきたいと願っています。